

中齋塾 東京フォーラム
平成 25 年度第 2 回

平成 25 年 2 月 9 日
東京フォーラム
於 湯島聖堂

おはようございます。まずは先月の財団法人化記念式典参加へのお礼を申し上げます。先ほど代表幹事が言われた通り一般財団法人が順調に発足致しました。全体で 200 名ほどの出席を戴きました。出席された方の話を聞くと、「パーティ客にチラホラと著名人が散見しているのに驚きました」と言われました。余談ですが、和服を着ていた方はどういう訳か目立ちました。女の人が化けるといのはこういうものなのかなと、普段洋服の姿に見慣れていますので、和服を着ると綺麗に化けるものだと思います。(褒めたつもりなのですがね)

人間は立場によって光り方が変わるものだとつくづく思いました。人の価値はその時のポストによって変わるものではない。その時の地位によって輝きが変わるものではない。中から溢れて出てくるものだと感じました。ところで、著名人とは誰のことかと思っていたら、今は市長選を控えていまして、地元の市長さん達で相関関係が{o}ありの石川忠久先生など、顧問の先生方のようなようです。石川先生は湯島聖堂のトップでして、あちらこちらに出掛けておられます。足利学校は定期的に出掛けています。当日お出での足利市長は中齋塾の会員で、足利学校を中心にして足利市は教育制度を充実させたいと思っておられるようです。その足利市長も忠久先生には頭が上がらないので穏やかな話の仕方で、忠久先生の隣でおとなしく座っていました。三すくみというのはここにもあるものだと感じました。今回、一般財団法人の記念式典を行った場所は太田市でして、私は太田市長とも長いお付き合いです。また中齋塾の誌友会員ですので式典の始まりの時と懇親会の時を二回顔を出してくれました。これが市長選の最中でなければ一回で終わったと思います。太田市長は普段偉そうな態度を取るのですが、その日はおとなしい。何故かと思っていたら、元県会議長がいらしていたのですが、その方のそばに行って頭を下げていました。やはり人間は、頭を下げるべき人が側にいるとおとなしくなるものだなとつくづく感じました。もうひとつ、渋川の市長が来られました。全国各地に安岡正篤先生に関係する師友協会という組織が昔ありまして、群馬では名前を変え群馬郷学会として現在に至っています。群馬郷学会の中心が渋川市にありまして、昨年、群馬郷学会の会長を引き受けさせて戴くことになりました。渋川市長も群馬郷学会の理事であるということで、以前市役所へお伺いした際に郷学会の話と同時に、渋川市の子供達は荒れている、荒んでいるという話になりました。どうしてかと思い調べてみたら、有識者の見解では農薬が元凶のひとつであるという考え

でした。その農薬を使わない野菜を、渋川市は日本全国の自治体の中でいち早く手掛けて渋川市内の子供達に食べて貰うという試みを始めたということでした。

紹介書籍

『新農薬 ネオニコチノイド 日本を脅かす—もうひとつの安全神話—』

水野玲子著 七つ森書館

今日ご紹介する本は『新農薬 ネオニコチノイド』です。ネオニコチノイドとは新しい農薬が全世界に広がっています。その本の中に面白い言い方がありました。「害虫はコロッと死にます。人間には一切影響がありません」そんな便利な農薬があるものかと思うのですが、その農薬を撒くと残留効果が非常に高いといいます。今年その農薬を撒いたなら、来年も効果があり害虫を殺しますが、人間には影響がありませんという農薬メーカーの主張は嘘だと書いてあります。日本は知らない内に農薬漬けになっていて、世界の体制から日本は著しく遅れているという内容の本です。この考え方を渋川市は取り入れたいということです。渋川市は相当な坪数を確保し、農家の協力を得て、人間に害をもたらさない農薬を開発してくれる農薬メーカーに依頼をして、今は一所懸命研究をしているところです。それらしきものが出来つつあるという事で、農薬の害を渋川市から払拭したいという話でした。中齋塾の木内顧問は家でミツバチを飼ってしまして、我々もこの様な事をしていまずと話をしましたら、ぜひ記念式典に参加したいということでお誘いしました。でも政治家はリップサービスの方が多いのであまり期待はしていませんでした。ですが商工会議所の会頭さん連れで一緒に見えました。いろいろ政治家の方を拝見すると、先ほどの太田市長は偉そうにしていますが元県会議長には頭を下げています。元県会議長は御祝い金をたくさん持って来て戴いて恐縮をしたのですが、その元県会議長は群馬郷学会の前会長には弱く、その会長さんは私を今回群馬郷学会の会長に推したので私の顔を見たら頭を下げています。それぞれが三すくみ、四すくみとなり人生って面白いものだなと感じました。ちなみにその三すくみで言いますと、昨日中齋塾フォーラムで話をして戴いたことがある野島透さんから電話がありまして、私の著書をお送りしましたので御礼と署名のお願いでした。野島さんは山田方谷の子孫でして、今、山田方谷を中心としたドラマ化の計画をしており署名運動をしているそうです。ただ東京都内はまだ1万人しか集まっておらず、岡山県では24万人の署名があるので何としても東京の署名を増やしたい・集めたいということでした。今は財務省にお勤めなので、今月末に財務省に行ってきます。この間の式典に銀行の役員さん達が見えましたが、その銀行の頭取が会えば財務省に頭を下げなければならないという立場です。それぞれの立場で三すくみです。野島さんは私共に頭を下げていまずので、署名に協力をしようと思っています。この間の発足式典の時、世の中はお互いに絡まり合っているのだなと、最近の動きを通じて感じております。

財務省は、なぜ税金をあげるのでしょうか。いったい何を考えているのでしょうか。特に高

齢者に、税金、税金、また税金、そして税金。増税、増税さらに増税という国は滅びると古来からいわれているのにも関わらず、なぜ日本の道は滅びの道を選ぶのかと思います。今度の所得税は課税所得4千万円以上の人に対しては45パーセントの税金にすることを決めたようですが、民主党案では5千万円を超える富裕層に対してというものが、4千万円を超える富裕層に対しては45パーセント最高税率をあげる。それは全体の増税化にあまり影響はないと思います。4850万人税金を払う人がいる中で、0.1パーセントの人に対して税金をあげる。それは所得税をあげる上における不平不満をなだめるパフォーマンスではないかという感じがしています。本当にかけるのであれば日本は終戦直後90パーセントをかけたわけですから、かつての日本がやったことを考えれば、というのをひっくるめて野島さんに少し話しをしてこようかなと思っています。でもあまり文句を言うのは良くないので「ほどほど」にしておきます。何故ならば、中斎塾の役員をして戴いている会社の社長の態度が良くないなと思った事があった時にその会社に出掛けて、その社長を徹底的に叩きました。本人は青くなったり、赤くなったりして、その後は私の顔を見ると寄って来なくなりました。それも反省をしています。一昨年本人が病氣になりまして、軽井沢の別荘に引きこもり原因不明の難病になってしまいました。あまり人を叩くのは良くない、ほどほどが良い。人を叩く時も知足の精神だなというのを感じました。前に本人が描いた絵を銀座の画廊で展示販売をしたことがあったので、贖罪の意味で一点購入しました。人に文句を言う時にも、言い方があるなと思います。論語の中には二通りあります。人に対して文句を言う時にはジワリジワリと、ゆっくり相手に反省を求めるような言い方が良い方法と、びっくり仰天をさせて相手が考える暇もないところでズバツと言ってしまっと思い通りに動かしなさいという人の動かし方。良いアドバイスでも悪いアドバイスでもする時にはやり方があるということですが、ほどほどにそれも柔らかく言うのが良いなと最近反省しております。

恒例の質問

・今年に入って1ヶ月強経ちましたから、嘘をつく日が少なかった方？全然つかなかつたとは聞いていないですよ。嘘を絶対つかないとなると苦しいけれど、嘘をつかない日が続くのはだいぶ気が楽になると思います。

・有難うと言い、有難うと言われることが今年に入って多いねと思われる方？

・今年に入ってから良い日が続くと思われる方？

・夜眠る時に、一日のことを考えますでしょう、その時に今日は良い日だったなと入れていますか？

良いことと悪いことが、その日寝る時にいっぱいあった。私の場合ですが、朝から一つ一つ思い出すのですけれど、思い出す中で良いことがちょつとの場合は、良いことを過大

評価してたくさん思い出す。悪いことは少々にして相対的に良いことを膨らませます。同時にまだ少ないかなと思う時は無意識の時に、あの日良かったなあ、あれ良かったなと思ひ出します。良いことは余韻が残ることがあります。良いことは一週間、上手くゆけば二週間やそこらは効果が続きます。良いことをしているな、嬉しいな・有り難いなというのは、ずっと続くものだと思います。良いことが大きければ大きいほど、他の人にもお裾分けをすることが出来ると思います。

・今朝、健康法を実践された方？

私は履いている靴が合わず、十数年足が痛くて、色々な有名な靴屋さん、能力のある靴屋さんの所に出掛けて行っては靴を直して貰っているのですが、なかなかしっくりこない。昨年暮れに地下鉄に貼ってあった広告を見て昨日出掛けて行って直してもらったら、だいぶ良くなりました。1週間ぐらい履いてみようと思いました。「足は非常に微妙なものですから、ほんの少し数ミリ狂っただけで足に痛みを生じます」と言われて納得しました。履物もパートナと同じかなという気がします。

・寝る時に一日のことを思い出して眠る方。

夜眠る時に一日あったことを一つずつ思い出してみようという習慣をつけられるとよい。これは渋沢栄一さんが眠る時に必ず実践をしていて、それが健康法に繋がり、記憶術の強化に繋がり、人様との交際を豊かにしていくものに繋がる。夜眠る時に何があったかを思い出すと書き残しています。私も実践していてこれは役に立ちます。

<講話・良書・人脈作り>

猪瀬理事長から言われたことで、ご報告しておきますと先月末にこういうメールがありました。「私は理事長職を拝命致しましたので一生懸命頑張ります。ついては塾長としてやって貰いたいことが3つあります」と注文が来ました。

一、講話をきちんとせよ。

二、良い本を書け。良い本を紹介せよ。

三、塾長しかできない人脈作りをせよ、とありました。これはちょっと困ったなと思いました。でもこれも何とかしようと思います。

<講話、良書、人脈作り>が塾長のお仕事ですと、理事長からご下命がありましたので、それはしようと思いました。ということは、それ以外の問題は猪瀬理事長が引き受けて受け取りました。色々な問題が起きた時には、猪瀬理事長に集中して戴くよう理事・評議員の皆様、代表幹事・幹事の皆様宜しくお願い致します。理事長として困ったぞという時には、副理事長が支えて下さるようお願い致します。

郡山法人会に講演を頼まれて出掛けるつもりですが、その会の要望で「論語・陽明学・知足を話すな」と言われました。「では何を話せば良いのか」と聞いたら、「深澤賢治個人の話をして欲しい」と言われました。それは、色々な偉い方達の話聞いても、ある一定

以上の話しかしないので原点を知りたい。頼んできた方はJCからの付き合いですから、「何で今更そんなことを聞くの？」と聞きましたら、「あなたも60歳を過ぎたが、私と知り合った時には30歳代で会社も小さかった。今お付き合いしている福島の人達は二代目三代目が多くて<思い>というものが無い。どういう考えで会社を起したのか、最初のスタートはどれぐらいの規模だったか。だから創業時の思いを語って欲しい」とのことでした。私は28歳の時に資本金100万円で社員0がスタートでした。10年20年後、現在はどうかということです。その大まかな流れは知っているけれども、具体的に細かいところ、本音の部分の話して欲しいということです。深澤賢治の歴史を語るということで、今までにない注文だなと思いつつ受けました。

3月11日は熊沢蕃山の最後の住所でお墓がある鮭延寺に出るようと連絡があったので出掛けてきます。人脈作りで色々な形で色々な人に会いましたら、なるべくお話をするようにします。なるべく変わった方、会いにくい人、人間的に内容が豊かな方、肩書きがなくとも面白い方、中身がたいしたこと無くても何故かそのポストについてしまった方も良いと思います。このような説明で、もう話しても良いとは思いますが、初対面の時にもう引退された元警察庁長官の方に「あなたは何故そのポストになれたのか」と聞いたことがあります。周りのお付きの人は青くなっただけで、本人はだいぶほぐれていたから、教えて戴いたことがあります。

家内に言わせると「あなたは年より転がし」と言います。相手の方が喋って戴くそのコツが自然と備わっているようなので、なかなか聞けない話を御高齢者に聞くのは慣れています。話していると面白いですよ。例えば、どうしてそのポストに登り詰めるのかと思うと、引力で登りつめる方はまずいない。交際術というか、人間転がしに長けている人。いくら能力がある人でも毒舌を吐く人はやられてしまう。大野参与は人転がしの癖があるのに、本音を言ったり毒舌を吐いたり正面切って正論を喋るから、なかなか会社が大きくなる。私は家内からカタツムリぐらいと言われるのは、もう少し頭を下げる癖があれば会社も、もう少し大きくなったのにとたまに言われます。正論を言うのは難しいのかなと思います。

素読論語 解説『先進第十一』

【二一】子路 問う、聞くまに斯に諸を行わんかと。子曰く、父兄 在すこと有り。之を如何ぞ、其れ聞くまに斯に之を行わんと。再有 問う、聞くまに斯に諸を行わんかと。子曰く、聞くまに斯に之を行えと。公西華曰く、由や 聞くまに斯に諸を行わんかと問いに、子は父兄 在すこと有りといえり。求や聞くまに斯に之を行わんかと問いに、子は聞くまに斯に之を行えといえり。赤や 惑いぬ。敢て問うと。子曰

く、^{きゅう しりぞ}求^{ゆえ これ}や^{すす}退^{ゆう}く。故^{ひと}に^か之^{ゆえ これ}を^{しりぞ}進^{すす}む。由^{ゆえ}や^{これ}人^{しりぞ}を^{すす}兼^{すす}ぬ。故^{ゆえ}に^{これ}之^{しりぞ}を^{すす}退^{すす}くと。

ここはイメージが湧くと良いのですが、子路は豪勇無双だが無鉄砲で軽はずみなところありという風に孔子は見ている。だから子路に対して、ちょっかいをかけて怒るという対象にしている。60歳代の孔子が50歳代の子路に対して親しみを感じながら話しているイメージです。子路は孔子に対して思ったことをズバズバ聞きます。孔子は相手によって言い方を変えています。

子路が孔子に質問しています。「聞いたら良いことはすぐ実行して良いか」と子路は聞きました。孔子は「そんなことはしてはいけない。父兄によく聞いてから、尚且つ確認を重ねたうえで行くが良い。子路は良いと思ってもすぐやらないように」と答えました。冉有が孔子に同じことを聞いています。孔子は「聞いたらすぐ実行しなさい」と言われた。20歳代の公西華が「先生どうのことですか？子路が聞いた時には、してはいけないと答えて、冉有が聞いたらすぐ行いなさいと言う。私はどちらを信じて良いか分かりません」。孔子は、「冉有は消極的だから、尻ごみをしないで進みなさいと励ましている。子路は人の仕事までやりたがるから、やり過ぎないように」と諭している。

【二二】子^し 匡^{きょう}に^い畏^{がんえん}す。顔淵^{おく} 後^しれたり。子曰^しく、吾^{われ} 女^{なんじ}を^{もつ}以^して^な死^ししたりと^な為^なせりと。曰^{いわ}く、子^し 在^{いま}す。回^{かい} 何^{なん}ぞ^{あえ}敢^して^し死^しせんと。

顔回が死んでそれを孔子が悲しんだという項目があるのですが、貝塚先生は同性愛のイメージが湧いたという表現がありました。学者でもそういう言い方をするものなのだなと思います。

孔子が50歳代の時に、宋という国の中に匡という場所で、武将の陽虎に間違われて住人から襲われた。ここですね、貝塚論語の同性愛の部分は、孔子は「お前が死んでしまったと思った」と言ったら、顔回は「先生が無事なのに簡単に死ぬわけがありません」と答えた。貝塚先生は師匠と弟子の間柄に隠微なおいがするとありました。ただ同性愛は今の時代の考えるものちょっと違います。織田信長だって稚児好みだといわれたし、上杉謙信は同性愛で名前が出てきます。戦国時代の武将というのは、そういう人が多い。私の感覚で見ると隠微と思ったのですが、世の中変わり過ぎていきますから、自分の一視点だけで物を言うのは、おっかないぞと感じました。

時事評論

「本質・大局・歴史」

今年も新聞を見る時に同じことが言えますが、「本質・大局・歴史」で日本をみる時期が

来たなと思いますので、新聞を見る時にこの本質・大局・歴史で見れば良いと再度お勧めしておきます。新聞を題材にして申し上げますと、群馬県の新聞で上毛新聞があります。2月4日付で「日本船警備、特別措置法案を、国土交通省が国会提出するという方針を固めた」という記事が載っていました。これは何かと申せば、日本の船に武装した警備員を乗せても良い、ライフルを所持しても良い。襲われたら発砲しても良いという法案を提出するという事です。変わりましたね。私、警備会社を経営していますから、こういう時代に入ってきたなと感じました。私が以前に銃砲器店を買収したのも悪くはなかったなと思います。買収したのがちょっと早すぎたと感じます。ただし日本の警備会社は認めないという添え書きがあり、外国の警備会社には認めるという法案です。でもそういう時代に入りました。これは正当防衛でして、船員に危険が生じた時の緊急時は人を狙って発砲しても良いという添え書きになっています。2月7日の日経新聞で、1月19日、中国は海上自衛隊のヘリコプターに火器艦船レーダーを照射した。1月30日は海上自衛隊の護衛艦に照射をしたということが出ています。この間ですが、太田市長を囲む会というのがありまして、市長が半分ぐらい話したのですが、残りの半分はこの話になりましたので、私がロックオンについて話をしました。ロックオンというのは、狙いを定めて引き金を引いたら相手が逃げても必ずあてる。狙いを定めてがっちり照準を定めてロックオンです。照射というのはロックオンする為の攻撃、だから完全なる攻撃。アメリカは照射されたらばお返しに空爆をします。日本も同じく空爆をしても構わないというのが国際常識です。そういうことを中国はしました。

今日の朝日新聞を読みましたら、ここら辺で出ているのは日中の対立。尖閣を射撃レーダーで照射をしたが、2月4日の午後に中国外務省が定例会見で「日本は、ねつ造をしている。日本は小細工をしないように」という発表をしたと新聞では書いてあります。しかしテレビで中国外務省の女性職員が発表しているのを見ると、その外務省の人の目が泳いでいました。嘘をつく時はみなさん目が泳ぎますし、心に無いことを言う時も同じです。だから心にない嘘をついているな、とありありと感じさせる定例会見だったと感じます。

もうひとつ、これはテレビでやっていたのですが、2月7日にロシアが領空侵犯をしました。2月7日というのは北方領土の日ですから、これは意識的に狙ってやったのだと思います。面白いと思ったのは朝日新聞の今日の社説で、首相は一体何をしたいのかというのがテーマでした。読んでみたら、集団的自衛権を首相は行使しようと、どんどん進めているけれど、そんなことをしたら危ないではないか。手を繋いでいるアメリカが攻撃されたら、手を払いのけてはいけない。安倍さんはアメリカがやられたら日本もちょっと攻撃をする。そんなことを日本がしたらとんでもない。歯止めが効かなくなり日本は戦争に巻き込まれるから、首相は集団的自衛権行使なんて余計で物騒な事をしてはいけないような社説でした。なるほど、それぞれの新聞がこういう時に立場を鮮明に表すものだと思います。そこで新聞をみて思うのは、本質的なものは何かと考えると、日本の国は完全に国家として弱体化をした。弱いと見れば叩く。日本は弱っている。叩くチャンスだから

「叩け」ということで、ロシア、中国、韓国、北朝鮮。かさにかかって一所懸命叩いている。この本質は日本の国家としての能力が落ちた。これは外交論だけではない。経済面、教育、政治、ありとあらゆるものが弱体化をしたという風に、本質面をみることが出来ません。

大局的なもので見た場合、大局とは色々な立場でものを見ることです。色々な立場で見ると、日本の国は3・11が非常に分かりやすい。ライフラインの電気・ガス・水道・道路・ガソリン。経済の問題も浮き彫りになりました。教育面でも政治的な問題も浮き彫りになりました。大局的な面で、色々な立場から日本を見た場合、なんと弱体化をし、酷い国になってしまったことか。他の国と比べると食事もまともに出来るし、良いものは沢山あるけれども、ひと頃と比べると日本はどんどん劣化をしてどうにもならない所まで来ているというのが大局的に見えます。それを新聞・ネット・テレビで見る。それを裏付けるものが沢山ある。ただ私が見るのは一つで、テレビで見た時のそれぞれの人物の表情を見るようにしています。そうしますと自信がない顔の人が実に多く、目が泳いでいる人も多い。明らかに泳いでいるというのは先ほど申し上げました中国外務省の人ですけれども、目で見るとというのは人物評価の上において、皆様にお渡しをしました河井継之助の本の中に、「論語の中の陽明学で人を見る、人物観察は瞳をみる」とありました。瞳を見ることによって人物の判断ができる、と例をいくつも残しています。私がテレビは良いなと思う点は、今のテレビは大写しにするから、大写しにすると瞳が見られます。これは良いと思います。大局観は、色々なものを見る時にそれらを語る眼、瞳を見るという視点をお持ち戴くと良いと考えます。

歴史については、今日の新聞でオヤッと思ったのは二つでした。

政治で、石破派発足。40人ぐらいの無派閥の人を集めて、石破派をスタート。何なんだと思います。派閥を批判した人が、自分で派閥を作ったのか。確かに政治家には一枚舌はいない。二枚、三枚舌、なるほどなあと思いましたし、税金について先ほど申し上げたようなことが載っています。

歴史的にみて、歴史は繰り返すといえますから、今の歴史は繰り返します。60年前を見直しするのか、40年前120年前を見直すのかという見方をしながら、自分の波長に合うところの好みの歴史を、もう一度見直して戴くのが良かろうと思っています。

今年はワクワクするような面白い時代。ワクワクするような時代に入ったと思っています。ですから御自分の実力が正当に評価をされる時代。実力が無い方は落ちる。実力がある方は一気に評価をされる。実に面白い時代に入ったという風にお考え下さい。